

農業・食産業問題セミナーのご案内

～新農業基本計画の課題とブラジル農場経営GIS活用事例～

政府は、去る3月30日の閣議で今後10年の農業政策のあり方を示す「食料・農業・農村基本計画」を決定しました。

食料自給率（カロリーベース）を現在の41%から2020年に50%に引き上げる目標を設定し、これまでの規模拡大や効率化に重点をおいた自民党政権時代の農政から、小規模農家も幅広く支援する方針への転換を打ち出しました。

具体策では、農家の赤字の一定分を国が補てんする戸別所得補償制度を本格実施し、対象品目を麦などにも広げるとしています。

そこで、今回の基本計画が、北海道農業にどのような影響があるのか、新制度の課題も含めて北海道農業協同組合中央会の基本農政対策室次長の入江千晴氏をお迎えしてお話を伺う運びとなりました。

後半は、北海道大学大学院文学研究科の仁平尊明准教授に、南米大陸のほぼ中央に位置する世界最大級の熱帯低層湿原のあるブラジルの南パンタナールのバアボニータ農場における牛の移動経路計測のためのGISとバイトカウンターによる採食量の計測結果の分析手法についてお話を伺います。

記

プログラム

開 場 13:30 (受付開始) 14:00 開演～16:00 終了

14:00～14:50

「新・農業基本計画の課題と北海道農業の展望」(仮題)

講演1

北海道農業協同組合中央会 基本農政対策室次長 入江 千晴氏

14:50～15:40

「ブラジルの伝統的な農場経営とその課題」

講演2

ーGIS・GPSを活用した分析的アプローチー

北海道大学大学院文学研究科准教授 仁平 尊明氏

2001年筑波大学大学院博士課程地球科学研究科修了、2004年～2010年筑波大学大学院生命環境科学研究科講師、2010年4月より現職。日本地理学会会員、地理情報システム学会会員、日本地理教育学会会員他。

15:40～16:00

質疑応答

■ 日 時

2010年6月7日(月) 14:00～16:00 受付開始 13:30

■ 会 場

かでの2・7 1040会議室

会場

〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル 10F

■ 参加費

一般 3,000円
フォーラム会員/GIS・GPS会員 2,000円

■ 主 催

北海道産学官研究フォーラム/北海道GIS・GPS研究会（担当 藤原）

■ お申込方法

6月4日（金）までに下記事項をご記入のうえFAXまたはE-mailをお願い致します。
FAX 011-787-7655 E-mail fuji@kirari.com

6月7日（月）の「農業・食産業問題セミナー」に参加します。

所属名	部署・役職	氏名
住所	TEL	FAX

■当セミナーに関する、お問い合わせ先■

北海道産学官研究フォーラム／北海道GIS・GPS研究会
〒007-0803 札幌市東区東苗穂3条1丁目2-7-105
TEL 011-787-7650 FAX 011-787-7655